

190123 名古屋城木造復元 市民説明会 緑区文化小劇場  
名古屋市民オンブズマンによるメモ

19:10 説明員説明

司会：できるだけ多くの人 1人3分ご協力を

2分30秒 なんとなく知らせる

手をあげるとマイクを持つ

これまで3か所開催した 緑区

まず最初に一度も発言していない人優先

天白区 高田：市長と同じくらい

本当に実現するのか疑問を持っている

理由 資料4ページ 基本的な考え方 史実に忠実な完全な復元

本物の姿に復元する

河村市長の熱い想いはわかる

2ページ 基本設計業務 すでに済んでいる かかった費用が支払われている

防災避難方針の作成 付加設備の作成

新聞を注意深く見ていたら、技術提案書 避難階段はなくす

地階避難トンネルなくす

エレベーター付けません

決定事項なので変えようがない

くっつけるもの 5ページ 基本的な考え方

現代技術について バリアフリー 史実に忠実な範囲内ですとめる

できなくても仕方がない

防災 現在の防火避難性能を確保する

有識者会議 建設の前提条件と書いてあったと理解

何を基準にしたら 鉄筋コンクリート天守と比べては

対策は疑問 火災に対する安全性能 竹中に聞いてみたい

危険なものしか作れないのでは？

司会：史実に忠実 完全復元実現するのか 疑問点等

名古屋市：天守閣を木造復元する際にですね、5ページの資料に書いてあります通り、新たに付加する現代技術について、ということでご説明をさせていただいております。

当然木造で天守閣を復元するには、建築基準法3条の適用を受けまして、建築基準法

の適用除外という形を取らせていただきます。ただ、適用除外はされますが、先ほどご意見いただきました、危険な建物を作ってよいということではありませんので、当然ながら建築基準法適用除外はされますが、ここに書いてあるように、現代の建築物と同程度の防火避難性能を有すると、いうことを確保するというを前提に設計をしております。

主な対策の所を見ていただけますとわかりますように、火災の発生の未然防止、それから火災の早期消火と火災拡大の防止、それから火災発生時における階段への煙の流入の防止、それから災害時における避難経路の確保。このようなことを木造で復元した天守にある程度の現代技術を付加する形で満足していこうというふうに思っております。

建築基準法で作る一般の建物につきましては、建物だけですべて安全を確保するような法律の体系になっておりますけれども、今回の木造復元につきましては、木造復元に合わせた設備等を付加をして、同程度の安全性を確保していきたいというふうに考えているところでございます。

竹中：今ご説明があった内容をですね、どのような形で検証していくかと言う話しなんです、これは一般的な建築基準法、消防法ではですね解析・解明できない、いわゆる安全性を確保する必要があるということで、いわゆる避難安全検証というですね、ルートを呼び出しまして、防災避難に関する有識者の先生方と協議をしたうえで、今申しました、火災のですね、主な対策、具体的な内容をご理解いただいたうえで、これであれば安全だろうということで、認定していただいて進めているという次第でございます。

これは当然、ハードだけではなく、ソフトも含めたですね、対応と言うことになりますから、今後具体的なソフト面については特に名古屋市さんと協議しながらですね、このような防災避難に対する安全性の対策をしていこうと、いうふうに考えております。

緑区 村田：木造復元より、石垣がこんなに大変 ちょっとびっくり

素人考え 石垣の上に城が載る

先に石垣を修復しないといけない

予算はいくらか知らない

芸術的な資産 石垣の方が価値があると思う

2022年木造建築の完成は普通に考えても無理では

木造復元には反対 焼けてしまって何もなくなったところに

安全だとしてコンクリートで建てた

十分名古屋城は博物館として機能している

文化施設が減っている 外見は素晴らしい完成度

石垣を修復して、竹中さんに耐震整備といろんなメンテナンスをすれば

そちらの方がいいんじゃないかと思う

司会：まず石垣をきちんとすべき

コンクリート 歴史を踏まえてしっかり耐震工事しては

西野：ありがとう

石垣 本質的な価値 大事にしないといけない

石垣についての対策 方針をきちんと作っていく

そのうえで木造復元をしていく

木造天守 現在のコンクリート天守 石垣に載っていない

ケーソン基礎の上に載っている

石垣が崩れても、天守はケーソンで支えられている

2022年までに天守を復元して、石垣については9年間にわたって

修復期間を設けている

約50億の予算をみている

燃えないように安全な天守 博物館

現在の技術で史実に忠実が可能

木造で復元すると、史跡名古屋城本来の姿を見ることができる

木造復元を進め、博物館機能については名古屋城の近くに設けることを考える

緑区 おぎそ：3ページ人数

422万人 他の城を見ると顕著に下がってくる

本当にクリアできるのか

オペレーションとしてご案内できるのか

隅櫓 人数制限がなされている

木造になった場合、人数制限

コンクリートは人数制限されなかった

司会：入場者数 422万人→386万人

市：昨年度調査 2023 422万人

おおむね366万人 アンケートを取った

名古屋城事態で誘客に魅力的な施策を取る予定

時間2500人ほどの見込み

観覧環境を整えていきたい

なるべく制限がかからないようにしたい

司会：隅櫓は制限している件

緑区 あさばたけ：入場者数 時間当たり 2500人

天守閣の中に入れるのか？

階段 史実に忠実に作られる 階段の角度

何人上がれるかすぐ計算できるはず

暗算でできるはず

僕も木造反対 河村市長が一生懸命やっている

かなり納得してきたほう 竹中も丁寧に行っている

バリアフリー問題 非常に心配している次第

後世に残る建物 何も考えない状態

上がれるような形ができるかも

車いす・高齢者 移してしかでてこない

レール・ロボット

登りたいが、登れない可能性がある

私はメーカーではない 栄からクリスタル広場

斜行型エレベーター

立形はむりだが斜行型は自由にできる

バランスを考えれば、耐震性も向上できるのでは

素人のばかな考えと思わずに検討してほしい

司会：2500人は入れるのか

バリアフリー問題 斜行型エレベーター対応可能では？

名古屋市：2500人入れるか

単純に割ると1平米あたり0.56人当たり

階段を通過できる人数が上限

史実に忠実な復元 一般より急な勾配

1秒間60センチ→30センチで算出

2500人は十分収容できると考えている

エレベーターを設置せず、新技術を考えている

あくまでも史実に忠実な復元を阻害しないように募集

天守が竣工する際にはなんとかみんなあがってもらいたい

司会：次の人

緑区・山本：新しいお城に期待

新しい城を作るだけでなく、今ある城を壊す どうするか  
今ある城立派 お宝もある  
廃材にするのはもったいない  
あとどういうふうにご利用するか

司会：壊した城の有効活用は

名古屋市：現天守壊した後 コンクリート廃材・柱  
現時点では廃材をどう活用するかは決めてない  
そのまま捨てるではなく、何らかの活用を考えている

司会：廃材としてか、部品として展示するのか

名古屋市：活用について検討  
今ある天守は価値があると考えている  
金シャチ、銅版瓦 名古屋城の特徴 残していく  
解体した後、ものを記憶の伝承という意味で活用したい

緑区・まちでら：入場者数  
2016年度192万人 その後新築で382万人となっている  
せっかく天守閣みたからにはある時間観覧したい  
192万人 1日2万しか入れない  
維持管理の見積もりは  
固定費を賄うために、382万人いれないとだめなのか  
イベントをうって  
200万人しか来ない場合の維持管理の試算は

司会：現在の規模くらいに入場者になったばあい、維持管理できるのか

名古屋市：入場者数 最大442万人  
350万人前提  
全体では採算が取れる見込み算出  
年間200万人程度 505億円の返済は正直厳しいと見込んでいる

司会：もっと入場者をいれないと返済厳しいということか

名古屋市：おっしゃる通り

南区 西浦：竹中に聞きたい

12月28日 西野所長は「見通しが立たないが、2022年を目指す」

変な話

文化審議会了承を断念

スケジュールは公表されていない

資料2 基本設計、実施設計が入り組んでいる

竹中に注文 階段、エレベーター、避難 耐火区画は？

10分間DVD

防災避難方針 木材を買うのは施主 市民 税金の無駄遣い

お金を払う人が損をしないようにするのが

概算見積もり エレベーターがないと明言

お金が変わるはず

どこで変わってきたのか

専門家としての良心はいたまないか

司会：見通しがたたない

防災避難方針

費用

竹中：すこし繰り返しの説明になるかもしれませんが、防災避難に関しまして、具体的な火災発生のですね、未然防止、未然に防止するためにはどういう対応をするか。例えば入場するときにはですね、危険物の持ち込みをさせないとかですね、そういった運用をしていくということ。また、火災のですね早期消火、火災の拡大防止、というようなところでは、やはり感知器とかスプリンクラーとか、屋内消火栓とか、やはり諸々のですね、そういった消火に関する設備もセットしていく。

さらに、火災が実際に発生した時にはですね、現在ある史実に忠実な階段ではありますが、そこに防煙区画というものが、煙のですね、流入をさせないような区画をセットしていくと。そして実際に災害が起こったときにはどのような避難経路で安全に避難していくか。そういったところも煙が実際に建物の中に入ってくるそういった充満する時間以内にですね、各階に入場者の方が避難できる、そういったシミュレーションを繰り返しながら、日本建築センターという民間の審査機関が、招集しました避難防災の有識者の先生にですね、度重なる協議をさせていただいて、具体的な内容についてご理解をいただいで進めているということでございます。

そしてあの、エレベーターをなしというところで、その部分につきましては、確かに

コストがですね減ということになります、ただ今後ですね、基本設計が実施設計に今移行しております。どうしても設計というのは新陳代謝するといいたいでしょうか、いろんな条件によってはですね、また変動してくる可能性もあります。

そういった中で名古屋市さんとは全体の総枠の予算というところはグリップさせていただいておりまして、その中で整理しているという運びとっております。

会場：初めて聞いた

いつも市長 史実に忠実

バリアフリー 江戸時代にはそもそもなかった

武士が戦う住まい

本来ない話

基本方針の中 天守閣の素晴らしさや眺望 楽しむのが原点

それの中によって、わかりやすく説明してほしい

名古屋には名古屋城と熱田神宮

明治村 訪ねてきても、連れて行くところがない

木造名古屋城 利用したい

名古屋市：天守 眺望を楽しんでもらいたい バリアフリー

方針 エレベーターを設置しない

新技術の開発により、多くの人に天守に上がってもらいたい

公募を始めて、技術についてはわかりやすいように伝えていきたい

今後の成り行きを見ていただければ

東区 内田：はね出し架構について お尋ねします。

有識者会議の石垣部会は木造復元について、特に基礎構造である「はね出し架構」が問題だとしています。耐震性を増すために、天守台石垣をとりはずし、石垣内部の遺構を破壊した上でコンクリート製の「はね出し架構」を設置する予定とのことですが、天守台石垣は、名古屋市の調査で最上部まで江戸時代のものである可能性が判明しました。

18/11/2 石垣部会で千田嘉博・奈良大学教授は以下述べました。

「今後の進め方に『特別史跡の保存に影響を与えない基礎構造の検討 調査研究の結果を踏まえ、必要に応じて見直しを行う』とあるが、考え方が根本的に間違っている。

名古屋市の案はどういうものかわからないが、少なくとも江戸時代の遺構を破壊する基礎構造である『はね出し架構』は断じて認めないし、一般論として文化庁も認めないだろう。」このように述べています。

「何回も部会・ワーキンググループで指摘し、文化庁でも指摘されているのになぜ残っているのか。名古屋市は本当は木造天守閣を建てるつもりはないのか」とまで述べていま

す。

そこで質問です。竹中工務店に対し、耐震性を考慮した場合、はね出し架構なしで木造建築が可能と考えていますか。仮にはね出し架構を付けざるを得ない場合、石垣部会の先述の指摘はどう考えていますか。

それを踏まえた上で、名古屋市に対して、竹中工務店の提案であるはね出し架構についてどう思っていますか。「耐震性」と「遺跡を破壊しない」ことを両立させることは可能と考えていますでしょうか。

さきほど西野所長から説明があった、「石垣部会が石垣について指摘している」という具体的なことをまったく説明していません。石垣部会からの指摘に両者誠実にお答えいただけますと幸いです。

司会：はねだし加工なしで可能か

内田：竹中から

司会：まず竹中から

内田：はい

竹中：それでは竹中工務店より回答させていただきます。石垣の扱い方によってですね、様々な案が考えられると思いますが、耐震性と史跡の保護を両立させた案というのは可能かと考えています。

いずれにしても、石垣の調査結果に基づいて、先生方とよく相談しながら最善の案を作り込んでいきたいと考えています。

内田：はねだし加工はなしでできるんですか

竹中：そういった案も考えられるということです。

名古屋市：石垣のことについてお答えいたします。

基礎を考える上では、穴蔵石垣という天守閣の天守台の内部の石垣のことが関係してくるかと思えますけれども、現在石垣部会の先生方からの指摘もありまして、天守台の内部・外部の石垣の現況を把握しており、調査を進めております。今日も説明させていただきました。

その調査の結果によりまして、調査の結果に従いまして、天守台石垣の保全ということの方針というのを定めてまいりたいというように考えております。



その中で、江戸時代から残るものについては、基本的には手を触れない、史跡の保存をはかっていきたいというように考えております。

司会：そろそろ時間

9名

閉会のあいさつ

河村市長：今日は小さい がきんちょ 小学生がきてもらった

ちびっこ 今生きている 古いもの 残さないといけないものある

なぜ法隆寺 1300年もっている

地震で倒れる可能性

人類は残す

今を生きる 70 もうすぐ八事に行く

国宝1号 図面を残している

こういうものはない

建中寺

1000年残して雑巾がけ行ってつなげていく使命があると思う

19:57

どうもありがとう